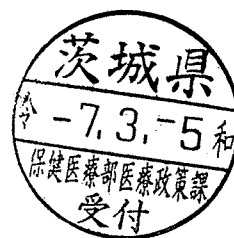


様式 1 (G-MIS様式)

事業報告書				
医療法人整理番号		1		
報告期間	自	令和6年1月1日		
	至	令和6年12月31日		
1 事業報告書の概要				
ラクセイカイ				
(1) 名称	分類①	医療法人 楽生会	分類①から③のそれぞれの項目（③は社団のみ。）について、該当するものをリストから選択すること。（会計年度内に変更があった場合は変更後。）	
	分類②	社団（出資持分なし）		
	分類③	その他		
	(2) 事務所の所在地	基金制度不採用	茨城県	複数の事務所有する場合は、主たる事務所と従たる事務所を記載すること。
		都道府県	坂東市	
		市区町村	辺田1430番1	
		町名・番地	建物名	
			従たる事務所の記載はこちら	
	(3) 設立認可年月日	平成15年3月13日		
	(4) 設立登記年月日	平成15年3月13日		
(5) 理事長の氏名	姓	木根淵		
	名	光夫		
役員及び評議員の人数		5	理事長を含む人数を記載すること。	
役員及び評議員		記載はこちら		
2 事業の概要				
(1-1) 本来業務（病院、診療所）		記載はこちら		
(1-2) 本来業務（介護老人保健施設、介護医療院）		記載はこちら		
(2) 附帯業務		記載はこちら		
(3) 収益業務		記載はこちら		
(4) 当該会計年度内に社員総会又は評議員会で議決又は同意した事項		記載はこちら		
(5) 当該会計年度内に発行した医療機関債		記載はこちら		
(6) 当該会計年度内に購入した医療機関債		記載はこちら		
(7) 当該会計年度内に開設（許可を含む）した主要な施設		記載はこちら		
(8) 当該会計年度内に他の法律、通知等において指定された内容		記載はこちら		
(9) その他		記載はこちら		
		(5)、(6)については、医療機関債を発行又は購入する医療法人が記載し、(7)以下については、病院、介護老人保健施設又は介護医療院を開設する医療法人が記載し、診療所のみを開設する医療法人は記載しなくても差し支えないこと。		
		全ての指定内容について記載しても差し支えない。		
		当該会計年度内に行われた工事、医療機器の購入又はリース契約、診療科の新設又は廃止等を記載する。（任意）		



事業報告書

1-(2) 従たる事務所の所在地

[illegible]

事業報告書

1-(5) 役員及び評議員

役職	姓	名	備考
理事	木根淵	光夫	
理事	木根淵	直子	
理事	木根淵	康平	
理事	堀	美沙	
理事	犬塚	恒夫	
監事	成澤	孝夫	

- 注) 1. 「社会医療法人、特定医療法人及び医療法第 4 2 条の 3 第1項の認定を受けた医療法人」以外の医療法人は、記載しなくても差し支えないこと。
2. 理事の備考欄に、当該医療法人の開設する病院、診療所、介護老人保健施設又は介護医療院（医療法第 4 2 条の指定管理者として管理する病院等を含む。）の管理者であることを記載すること。（医療法第 4 6 条の 5 第 6 項参照）
3. 評議員の備考欄に、評議員の選任理由を記載すること。（医療法第 4 6 条の 4 第 1 項参照）

事業報告書

2-(1) 本来業務

(開設する病院、診療所（医療法第42条の指定管理者として管理する病院等を含む。）の業務)

[illegible]

- 注) 1. 地方自治法第244条の2第3項に規定する指定管理者として管理する施設については、指定管理の欄に記載すること。
2. 療養病床に介護保険適用病床がある場合は、医療保険適用病床と介護保険適用病床のそれぞれについて内訳を記載すること。
3. 介護老人保健施設又は介護医療院の許可病床数の欄は、入所定員及び通所定員を記載すること。

事業報告書

2-(1) 本来業務

(介護老人保健施設又は介護医療院（医療法第42条の指定管理者として管理する病院等を含む。）の業務)

[illegible]

注) 1. 地方自治法第244条の2第3項に規定する指定管理者として管理する施設については、指定管理の欄に記載すること。
2. 療養病床に介護保険適用病床がある場合は、医療保険適用病床と介護保険適用病床のそれぞれについて内訳を記載すること。
3. 介護老人保健施設又は介護医療院の許可病床数の欄は、入所定員及び通所定員を記載すること。

事業報告書

2-(2) 附帯業務（医療法人が行う医療法第42条各号に掲げる業務）

[illegible]

注) 地方公共団体から委託を受けて管理する施設については、その旨を委託管理の欄に記載すること。

[illegible]

2-(6) 当該会計年度内に購入した医療機関債
医療機関債の発行により資産の取得が行われる医療機関と同一の二次医療圏内に自らの医療機関を有しており、これらの医療機関が地域における医療機能の分化・連携に資する医療連携を行っており、かつ、当該医療連携を継続することが自らの医療機関の機能を維持・向上するために必要である理由

[illegible]

(注) 1. 医療機関を購入する医療法人は、医療機関の発行により資産の取得が行われる医療機関と同一の二次医療圏内に自らの医療機関を有しており、これらの医療機関が地域における医療機関の分化・連携に資する医療連携を行っており、当該医療連携を促進することから自らの医療機関の増設を相対・向上するために必要である理由が認められること。
2. 購入した医療機関名称、発行する医療法人名、購入価格及び償却期間を記載すること。なお、契約書又は債権証券等の写しの添付に代えても差し支えない。

[illegible][illegible]

注) 全ての指定内容について記載しても差し支えない。

[illegible]

(注) 当該会計年度内に行われた工事、医療機器の購入又はリース契約、診療科の新設又は廃止等を記載する。(任意)

様式 2

法人名 医療法人 楽生会

※医療法人整理番号

1

所在地 茨城県坂東市辺田1430番1

財 産 目 録
(令和 6年12月31日現在)

1. 資 産 額	1,449,606 千円
2. 負 債 額	1,587,529 千円
3. 純 資 産 額	△ 137,923 千円

(内 訳)

(単位：千円)

区 分	金 額
A 流 動 資 産	627,406
B 固 定 資 産	822,200
C 資 産 合 計 (A + B)	1,449,606
D 負 債 合 計	1,587,529
E 純 資 産 (C - D)	△ 137,923

(注) 財産目録の価額は、貸借対照表の価額と一致すること。

土地及び建物について、該当する欄の□を塗りつぶすこと。

土 地 (□ 法人所有 ■ 賃借 □ 部分的に法人所有 (部分的に賃借))
建 物 (■ 法人所有 □ 賃借 □ 部分的に法人所有 (部分的に賃借))

法人名 医療法人 楽生会
所在地 茨城県坂東市辺田 1 4 3 0 番1

※医療法人整理番号 1

貸借対照表
令和6年12月31日 現在

(単位:千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
I 流動資産	627,406	I 流動負債	408,423
現金及び預金	317,310	支払手形	0
事業未収金	242,174	買掛金	71,724
有価証券	0	短期借入金	300,000
たな卸資産	12,150	未払金	19,450
前渡金	958	未払費用	0
前払費用	41,992	未払法人税等	235
その他の流動資産	12,822	未払消費税等	0
		前受金	0
		預り金	7,014
		前受収益	0
		その他引当金	0
		その他の流動負債	10,000
II 固定資産	822,200		
1 有形固定資産	792,758	II 固定負債	1,179,106
建物	535,585	医療機関債	0
構築物	34,232	長期借入金	1,179,106
医療用器械備品	15,139	繰延税金負債	0
その他の器械備品	31,879	その他引当金	0
車両及び船舶	1,594	その他の固定負債	0
土地	173,806		
建設仮勘定	0		
その他の有形固定資産	523		
2 無形固定資産	20,607	負債合計	1,587,529
借地権	0	純資産の部	
ソフトウェア	20,607	科目	金額
その他の無形固定資産	0	I 基金	97,667
3 その他の資産	8,835	II 積立金	-235,590
有価証券	5	代替基金	0
長期貸付金	1,047	繰越利益積立金	-235,590
保有医療機関債	0	その他積立金	0
その他長期貸付金	1,047		
役職員等長期貸付金	0		
長期前払費用	0		
繰延税金資産	7,546	III 評価・換算差額等	0
その他の固定資産	237	その他有価証券評価差額金	0
		繰延ヘッジ損益	0
資産合計	1,449,606	純資産合計	-137,923
		負債・純資産合計	1,449,606

(注) 1. 表中の固定された勘定科目については、変更しないこと。
2. 表中の選択可能な勘定科目については、プルダウンにより適切な勘定科目を選択すること。
リストにない勘定科目がある場合は、原則リスト中の「その他〇〇」を選択すること。

法人名 医療法人 楽生会
所在地 茨城県坂東市辺田1430番1

医療法人整理番号 1

損 益 計 算 書
自 令和6年1月1日 至 令和6年12月31日

(単位: 千円)

科目		金 額	
I 事業損益			
A 本来業務事業損益			
1 事業収益			1,265,339
2 事業費用			
(1) 事業費	1,453,476		
(2) 本部費	0		1,453,476
本来業務事業損失			188,137
B 附帯業務事業損益			
1 事業収益			0
2 事業費用			0
附帯業務事業利益			0
C 収益業務事業損益			
1 事業収益			0
2 事業費用			0
収益業務事業利益			0
事業損失			188,137
II 事業外収益			
受取利息	1,083		
その他の事業外収益	30,032		31,115
III 事業外費用			
支払利息	17,448		
その他の事業外費用	4,113		21,561
経常損失			178,583
IV 特別利益			
固定資産売却益	0		
その他の特別利益	0		0
V 特別損失			
固定資産売却損	102		
その他の特別損失	0		102
税引前当期純損失			178,685
法人税・住民税及び事業税	241		
法人税等調整額	0		241
当期純損失			178,926

(注) 1. 利益がマイナスとなる場合には、「利益」を「損失」と表示すること（自動表示）。
2. 表中の勘定科目については、変更しないこと。
3. 表中の選択可能な勘定科目については、プルダウンにより適切な勘定科目を選択すること。
リストにない勘定科目がある場合は、リスト中の「その他〇〇」を選択すること。

監 事 監 査 報 告 書

医療法人 楽生会

理事長 木根淵 光夫 殿

私（注 1）は、医療法人楽生会の令和 5 会計年度（令和 5 年 1 月 1 日から令和 5 年 1 2 月 3 1 日まで）の業務及び財産の状況等について監査を行いました。その結果につき、以下のとおり報告いたします。

監査の方法の概要

私たちは、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、本部及び主要な施設において業務及び財産の状況を調査し、事業報告を求めました。また、事業報告書並びに会計帳簿等の調査を行い、計算書類、すなわち財産目録、貸借対照表及び損益計算書（注 2）の監査を実施しました。

記

監査結果

- (1) 事業報告書は、法令及び定款（寄附行為）に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- (2) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、上記の計算書類の記載と合致しているものと認めます。
- (3) 計算書類は、法令及び定款（寄附行為）に従い、損益及び財産の状況を正しく示しているものと認めます。
- (4) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款（寄附行為）に違反する重大な事実は認められません。

令和 7 年 3 月 5 日

医療法人 楽生会

監事 成澤 孝夫

（注 1）監査人が複数の場合には、「私たち」とする。

（注 2）関係事業者との取引がある医療法人については、「財産目録、貸借対照表、損益計算書及び関係事業者との取引の状況に関する報告書」とし、社会医療法人債を発行する医療法人については、「財産目録、貸借対照表、損益計算書、純資産変動計算書、キャッシュ・フロー計算書及び附属明細表」とする。